

かぜを参考に、病気はどのようにして起こるか、話し合って整理してみま  
しょう。

● 病気の起こり方



病気





病気の起こり方を整理してみよう。かぜ以外の病気でも考えてみよう。

例：食<sup>しょく</sup>中<sup>ちゆう</sup>毒<sup>どく</sup>、むし歯

**病原体**

例：病原体が付いた手で食事する

**生活のしかた**

例：すいみん不足

かんきょう  
環境

例：寒い日

ていこう力

例：つかれている

病気は、病原体、体のていこう力、  
生活のしかた、<sup>かんきょう</sup>環境などが関わり合って  
起こります。病気の起こり方を知ること、  
病気を防<sup>ふせ</sup>ぐ方法を考えることができます。



かぜをひいたとき、  
どんな<sup>げんいん</sup>原因が関わり  
合っていたのかな。

## プチ

<sup>さいきん</sup>細菌もウイルスもとても小さいですが、<sup>さいきん</sup>細菌は  
ウイルスの約100～1000倍の大きさがあります。

3

Nさんはかぜをひいてしまいました。  
どうすればかぜを<sup>ふせ</sup>防ぐことが  
できたのか、Nさんにアドバイス  
してください。

Nさんは、10月のある寒い日の朝、友達と  
駅前で待ち合わせをしました。駅前には多くの  
人がいて、せきやくしゃみをしている人も  
いました。Nさんは、前の日にスポーツの大会  
に出て、つかれていましたが、  
ゲームをして夜おそくまで  
起きていました。



Nさん

 ねえねえ、Nさん……

.....

.....



学習の進め方について自分で工夫したことや、もっと学習したいこと、なるほどと思ったことを書いておきましょう。



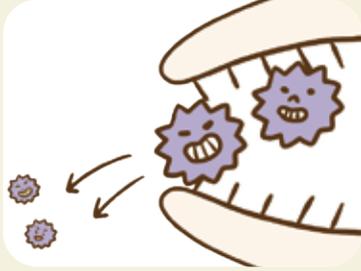


## ていこうかって、 何だろう？

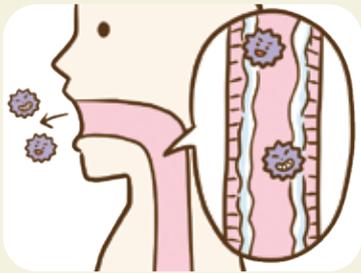
わたしたちの体には、病原体などから体を守り、  
病気にかかってもそれに打ち勝とうとする力が  
そな備わっています。それが、ていこう力です。

## ● 体が持っているていこう力

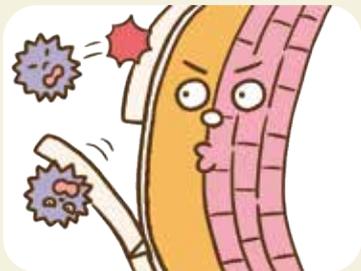
なみだは、ほこりやごみを<sup>あら</sup>洗い流したり、病原体の働きを弱めたりする。



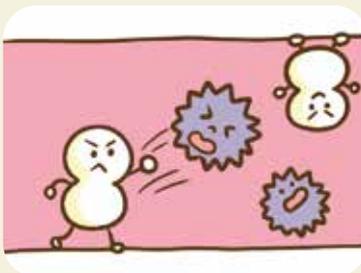
鼻毛はちりやほこりなどを引っかけ、くしゃみはそれらを外に出す。



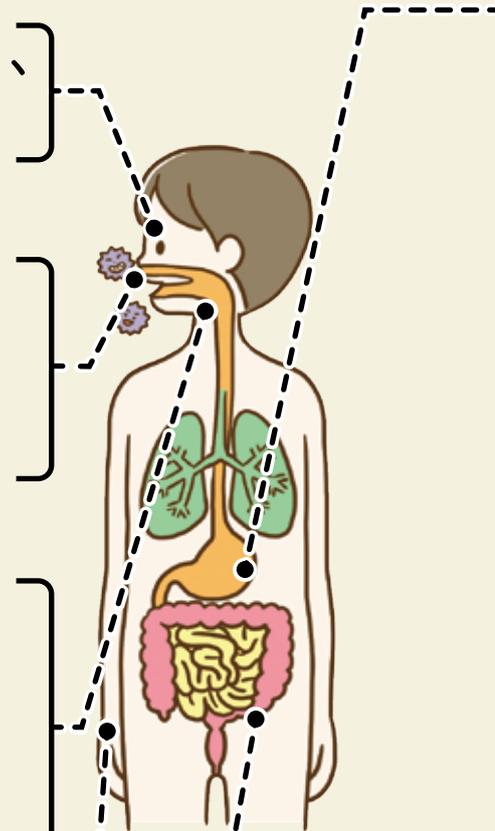
のどのおくは、ねん<sup>えき</sup>液が病原体をつかまえ、細かな毛が動いて、それを外に出す。

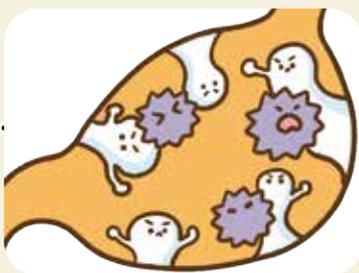


ひふ<sup>ひ</sup>皮膚は、病原体を通さない。外側はあかとなつて、くつついた病原体ごとはがれ落ちる。



ちょう<sup>ちよう</sup>腸には、<sup>にゆうさんきん</sup>乳酸菌・<sup>きん</sup>ビフィズス菌などがすんでいて、外から入ってきた病原体が<sup>ふ</sup>増えるのを<sup>ふせ</sup>防いでいる。





胃から出る<sup>えき</sup>液は、病原体の働きを弱める。

- 病気の<sup>しょうじょう</sup>症状は、体がていこう力を働かせて病気とたたかっていることの表れ

### 発熱、のどのはれ

病原体の働きをおさえようとして出る。

### くしゃみ、せき、鼻水

病原体などを体の外に出すために出る。

### はく、<sup>げり</sup>下痢

<sup>どくぶつ</sup>毒物を体の外に出すために起こる。

## プチ

病原体が体の中に入ってきたり、がん細胞<sup>さいぼう</sup>が  
できたりすると、血液<sup>けつえき</sup>の中の「白血球」が中心と  
なって、それらをこうげきします。